



# 熊事研会報

第159号

熊本県学校事務研究協議会  
発行人 会長 神尾 浩輔  
編集代表 研究部長 山本 晋也

～目次～

- 熊本市立学校事務研究会西地区・北地区合同研修会に出張！
- 菊池郡市事務担当者会に参加させていただきました！
- 第48回熊本県学校事務研究大会のお知らせ
- 令和7年度版学校事務必携発刊の御案内
- あとがき

## 熊本市立学校事務研究会西地区・北地区合同研修会に出張！

12月4日に開催された熊本市立学校事務研究会西地区・北地区合同研修会に平野副会長と山本研究部長がお邪魔しました。その際に2人からそれぞれ話をさせていただきましたので、概要をまとめています。熊本市立学校事務研究会西地区・北地区合同研修会に参加された皆様、貴重な時間をありがとうございました。

### 1 働き方改革と学校事務センターについて

平野副会長からは、事前に御質問いただいた内容を中心に研究部長を退かれた後の自身の経験をもとに働き方改革について話がありました。学校事務職員の働き方改革として、①考え方を变える、②組織を活用する、③仕組みを作る、という考えを伝えました。

① 考え方を变える	自分が頑張らないといけないの？
② 組織を活用する	ひとりで頑張らないといけないの？
③ 仕組みを作る	ただだと頑張っていて良いの？

それぞれの問いから、「きっちりと線引きする」正しく「減らす」技術が必要であり、次の3つのサイクルを実行することが重要であると話しました。

【①見極める】→【②捨てる】→【③仕組み化する】

大事なものを知り、不要な物を捨て、決めたことをスムーズにやり遂げることが働き方改革への第一歩であるとまとめました。最後に、熊本県の学校事務センターについて概要を説明しました。

### 2 そんなに難しくない！事務をつかさどるについて

どこでもよく耳にする、平成29年3月に学校教育法の一部改正により「事務に従事する」から「事務をつかさどる」へ改正されたことについて、改めて難しく考えなくていいことを自身の学校での実践をもとに話をしました。

復習になりますが、「事務をつかさどる」とは、学校におけるマネジメント機能を十分に発揮できるようにするため、学校組織における唯一の総務・財務等に通じる専門職である事務職員の職務を見直すことにより、管理職やほか教員との適切な業務の連携・分担の下、その専門性を生かして学校の事務を一定の責任をもって自己の担当事項として処理することとし、より主体的・積極的に校務運営に参画することを目指すものであると文科省は位置付けています。





こうして文字で見ると良くわからなくなるので、学校で実践している取組みを例にして普段の業務から既に事務をつかさどることが出来ていると伝えました。

最後に、学校事務職員として「事務をつかさどる」ために切っても切れない、学校を始めとした「組織」で業務をする上で必要な合意形成の話をグループワークで実体験していただきました。事務をつかさどることは、私たちは法改正前から出来ていて、わくわく学校をつくることができているので明日からも頑張りましょうとまとめました。

## 菊池郡市事務担当者会に参加させていただきました！

12月10日に開催された菊池郡市事務担当者会にも平野副会長と山本研究部長でお邪魔しました。ご厚意で研修の最初から参加させていただき、ヤングケアラーについての講話や実践報告をお聞きしました。こちらでも2人が話した概要をまとめています。菊池郡市事務担当者会の皆様、貴重な時間をありがとうございました。

### 1 郡市事務研の活性化について【副会長 平野】



郡市事務研の活性化をメインテーマに、ジャパネットたかたの社長 高田 旭人 氏の言葉である「能力×努力の仕方×努力の量によって人は成功する」をもとにリーダーの意識変革に触れながら説明をしました。「能力」は生まれつきの才能であり、「努力の量」は地球上全ての生物に均等に与えられている時間であり、その一日の時間は限られているため、「努力の仕方」が最も大切であること、がむしゃらに頑張るのではなく、カリキュラムを立て、行動と成長を比較し見直し、無駄な努力を省いていくこと（エッセンシャル思考）が

重要であると話しました。

また、リーダーとして必要なことは「自信・信頼・ビジョン」であり、それらを備えるために「積極性（自分から）× 探求（探す）× 継続（続ける）」という公式を示し、子どもたちの笑顔を未来につなぐために持続可能な仕組み化に取り組んで欲しいことを伝えました。その仕組み化された組織で、化学反応を発生させ「反応性」を高めることで郡市事務研が活性化すること、リーダー・サブリーダーが学校事務職員という仕事に自信と誇りを持ち、「持続可能」な職業としてのビジョンを持ち続けることが大切であるとまとめました。

### 2 今後の熊本県学校事務研究協議会について【研究部長 山本】

今年度の研究テーマ「子どもたちの笑顔を未来につなぐ学校の協創～つながる学校事務職員のアップデート～」について設定の背景と研究の方向性を確認した上で、研究を進めていくうちに出た問い、「熊事研という組織の主役は郡市事務研ではないだろうか？」を踏まえ、今後の熊事研の在り方を展望しました。学校事務職員の職務の標準化等を目指して各地区の事務研が集まり、熊事研が組織された背景を考えると「熊事研の主役は郡市事務研」です。

そこで今年度研究を行っている「組織を手段として活用する」に当てはめ、「郡市事務研が熊事研を手段として活用できるようにする」ためには、郡市事務研での実践報告や他地区と情報交換する場を設けることが必要であるという研究部の考えを伝えました。しかし、実践報告等を行うのは郡市事務研に新たに負担をかけてしまうことになりかねないので、研究部長の実践をもとに、どの程度なら負担がないかを考えて欲しいと話しました。最後に、熊事研の役割は学校事務職員と郡市事務研に活用されるような組織になること、そのために活動を続けることで最終的に熊本県の子どもたちの笑顔につながるということが重要であると伝えました。



熊本市立学校事務研究会、菊池郡市事務担当者会からもたくさんの感想や御意見をいただき、ありがとうございました。

## 第48回熊本県学校事務研究大会のお知らせ

各地区理事より案内を配布しておりますが、第48回熊本県学校事務研究大会の概要について、改めてお知らせいたします。今大会も前回大会と同様に参集型で行い、分科会も開催します。

会員の皆様の研鑽の一助となれるよう、事務局と研究部が一丸となって企画し、準備を行っています。たくさんの御参加をお待ちしています。

期日 令和7年1月17日(金)

場所 市民会館シアーズホーム夢ホール【全体会、第1・2・3分科会】

日程	9:30 ~ 10:00	全体会受付
	10:00 ~ 10:20	開会行事
	10:20 ~ 10:50	研究部提案
	10:50 ~ 11:00	休憩
	11:00 ~ 12:30	全体会講演
	12:30 ~ 13:30	昼食
	13:40 ~ 14:00	分科会受付
	14:00 ~ 16:30	分科会
	16:30	閉会



### ◎第1分科会

キャリア：定型職員（ルーティンワーカー） 経験1～3年目  
調整職員（コーディネーター） 経験4～10年目

テーマ：持続可能な学校事務職員 ～「できるかな」をやってみよう！～

講師：佐世保市立浅子小中学校 事務主任 宮本 隆宏 氏

体験発表：南関町立南関第四小学校 主任事務職員 安岡 あゆみ 氏  
高森町立高森東学園義務教育学校 事務職員 鶴山 孔士 氏

◎第2分科会

キャリア：企画職員（デザイナー） 経験 11～20 年目

テ ー マ：学校事務職員のウェルビーイング

～学校のみドルリーダーとしてウェルビーイングの向上につなげる～

講 師：新潟市立白根第一中学校 総括事務主幹 松野 千恵美 氏

◎第3分科会

キャリア：総括職員（アドミニストレーター） 経験 21 年目～

テ ー マ：対話でつむぐ、学校事務のおもしろさ

講 師：九州女子大学 人間科学部児童・幼児教育学科 講師 木村 栞太 氏

## 令和7年度版学校事務必携発刊の御案内

令和7年度版も、会員の皆様の「仕事の友」となるよう現在作成を進めております。

令和4年度版からは、熊本市の給与及び旅費に関する事項についても「資料編」として掲載しており、熊事研会員外の方にも御購入いただいております。

受注生産となっておりますので、申込み忘れがないようお気をつけ下さい。

皆様の御購入お待ちしております。

※物価高騰のため値上げをしております。金額につきましては購入案内を御確認ください。

### 【令和7年度版学校事務必携 注文受付スケジュール】

12月13日（金）	購入案内配布
1月10日（金）	注文受付締切り
2月初旬	公費注文分の請求書類発送
2月21日（金）	入金締切り（入金方法は各地区の研究部員より連絡）
3月上旬	各地区の研究部員へ納品 → 購入者へ配付



## あとかき

早いもので、令和6年も残すところあとわずかとなりました。皆様にとって今年はどんな一年だったでしょうか？

本会報を作成するに当たり、熊本市立学校事務研究会西地区・北地区研修会様及び菊池郡市事務担当者会様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、取材の申出を快く引き受けてくださりありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後も、熊事研の活動やタイムリーな話題を会員の皆様にお届けできるよう努めて参りますので、令和7年もどうぞよろしく願いいたします。

また、来年1月には研究大会が開催されます。事務局と研究部で一生懸命企画・準備を行っています。皆様の御参加を会場でお待ちしています！

熊本県学校事務研究協議会 研究部 情報調査班 会報担当